

令和7年度 第78回入学式 式辞

大いなる北アルプスの威容を仰ぎ見る、ここ松本平にも生命の輝きを感じる季節がめぐってまいりました。

本日ここに、同窓会長様、PTA会長様をはじめ御来賓の皆様のご臨席を賜り、令和7年度第七十八回入学式を盛大に挙行できますこと、篤く御礼申し上げます。

さて、ただ今、入学を許可させていただきました、280名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、また在校生の皆さんとともに心より歓迎いたします。

本日の喜びは、皆さんのこれまでの努力の賜物であることは勿論ですが、その陰には、ご家族はもちろん、お世話になった先生方、そして地域の皆さんのご支援があったことを忘れないください。そしてこれからも感謝の念を持ち続けてください。皆さんの今後の高校生活が、かけがえのない充実した日々となることを心より期待しています。

本日ご臨席いただきました保護者の皆様、お子様のご入学まことにありがとうございます。今日のこの日までのご労苦に、深甚なる敬意を表するものでございます。

この場をお借りしまして、本日より始まります高校生活、何卒本校の教育活動に対しまして、御理解御協力を賜りますようお願い申し上げます。

松本美須ヶ丘高校は、校章に込められた、真、善、美、さらには自由、平等、博愛の精神を大切にし、文学者佐藤春夫先生作の校歌の一節に歌われる「みすずの心」の根底には、自由と自立の精神が宿っており、情操（なさけ）と知性（ことばり）にあふれる青年の学びの場として、今年度で創立116年を迎える歴史と伝統を有する学校です。

新入生の皆さんは、これらの伝統ある教えに加え、本校のグランドデザインとして掲げる「人とつながる、地域とつながる、未来とつながる」この美須ヶで、自己の成長に向かって一歩ずつ歩みを進めていってください。その成長につながる3つのテーマをお伝えしたいと思います。

まず、挑戦してみることの大切さです。中学校時代には思いもよらなかった方向性が見つかるかもしれません。結果をおそれずチャレンジしてみてください。「挑戦する機会というものには誰にでも平等である」というアップル社の共同設立者のスティーブ・ジョブズ氏の言葉のとおり、挑戦する皆さんに期待しています。

また、友人との関係を大切にしていきましょう。他者の多様な考え方に触れることは思考の幅や奥行きを広げてくれることでしょう。「最高の友は、私の中から最高の私を引き出してくれる友である」自動車のフォード社創業者のヘンリー・フォード氏の言葉です。お互いに高め合う美須ヶの友との出会いを大切にしていきましょう。

さらには、人生の歩を進めておられる先輩や大人の方たちの生き方を、見つめてみてください。身近なご家族、先生方の姿から学ぶことが大いにあると思います。「よりよく生きる道を探し続けることが、最高の人生を生きる、ということだ」古代ギリシャの哲学者、ソクラテスの言葉です。

今、社会は、予測が難しい時代、不確実な時代を迎えていると言われています。自然災害や国際的な紛争も残念ながら発生しています。このような社会情勢の中、社会とのつながりが増えていく高校時代は、皆さんにとって非常に重要な時期です。

その大切な高校生活において、次世代の担い手である生徒の皆さん一人一人の自己実現を支援

し、将来への飛躍を支えていくことこそが、私たち教職員に課せられた責務と考えております。

また、ご家庭におかれましては、大変恐縮に存じますが、学校との連絡、連携を密にしていた
だきながら、温かく見守っていただきますようお願い申し上げます

今、学校教育では「主体的、対話的で深い学び」を目指しています。各教科の学び、進路実現、
クラブ活動や生徒会活動も、自ら主体的に思考し行動していくと同時に、様々な方々とコミュニ
ケーションを深める「対話」を通じて成長につなげていくことが重要と考えます。

新入生の皆さん、この美須々の森で、日々目標を持って仲間と共に高校生活を送り、様々な皆
さんと「対話」を重ねながら、自他ともに大切にしながら、充実した3年間にしていきましょう。

そして、やがて訪れる巣立ちの時に、主体性に満ち、心身ともにたくましく、また同時に、多
様性を理解する柔軟性や寛容性に富む、長野県、日本、そして世界の担い手とならんことを大い
に期待し式辞といたします。

令和七年四月五日

長野県松本美須ヶ丘高等学校長 久保村 智